

令和4年9月1日

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

自由民主党愛知県議員団
団 長 石井芳樹
幹事長 藤原宏樹
総務会長 山下智也
政調会長 丹羽洋章

オミクロン株対応ワクチンの接種促進等について（要望）

新型コロナウイルス感染症の第7波は、BA.5系統を始めとする新しい変異株によって、爆発的な感染拡大となった。

現在もなお、新規陽性者数は高止まりの状態が続いており、社会経済活動等に大きな影響を及ぼしている。

こうした中、政府から、自治体に対し、BA.5系統を始めとする変異株にも効果のあるオミクロン株対応ワクチンを、初回接種完了者全員に接種することを想定して準備を進める旨の方針が示されたところである。

新しい変異株の脅威に立ち向かうためには、オミクロン株対応ワクチンをひとりでも多くの方に接種していくことが不可欠だが、現場の市町村や医療機関には、使用されるワクチンの種類や接種対象者、具体的な供給スケジュール等の詳細が未だ示されていない。

また、子どもたちが通う保育施設等でのクラスターが過去に例のないほど増加している一方で、現在実施されている4回目接種は、保育士などのいわゆるエッセンシャルワーカーが対象とされていないなど、ワクチン接種の運用に係る課題は多く残されている。

よって、国におかれては、ひとりでも多くの方の生命・健康や生活を守るため、下記の措置を早急に講じられるよう要望する。

記

- 1 保育士や幼稚園の教諭、学校の教職員などのエッセンシャルワーカーについて、速やかに4回目接種の対象に加えること
また、オミクロン株対応ワクチンの接種に当たり、これらエッセンシャルワーカーを優先接種の対象とするなど、迅速に接種を受けられる運用とすること。
- 2 希望する全ての方に速やかに接種を実施できるよう、十分な量のオミクロン株対応ワクチンを確実に確保するとともに、医療機関、自治体等へ確実に供給すること
- 3 オミクロン株対応ワクチンの接種について、県、市町村、医療機関等が余裕をもって準備を進めていけるよう、接種の対象者や順位、接種間隔、使用するワクチンの種類及び供給スケジュール等、具体的な実施計画を速やかに示すこと
- 4 オミクロン株対応ワクチンの接種開始に当たり、その効果や接種の必要性等について、国民に対し、分かりやすい情報発信に努めること